

な～に谷っ戸ん田 4年目の25回目

イチゴランナーとり・マルチ、ナバナ種蒔き、トマト定植・誘引、ネギ畑草取り・土寄せ、ダイコン種蒔き、にんじん畑草取り

とき 平成22年9月25日(土) 9:30～17:00

ところ イチゴハウス、谷っ戸ん田周囲、谷っ戸ん田の奥のハウス、その奥のネギ畑、墓地下の畑

天気 晴れ(朝は一気に初冬のような寒さだったが、昼にはぼかぼかに！)

参加者 石田、磯(午後途中から)、オズ、加藤(昼前から)、霧生、久保、坂本、佐々木夫妻・優聖、佐々木美紗ママ(午後途中から)、高田(妻)、高橋、松本夫妻、百崎妻・まる(昼前から) 計17名 記録:オズ

午前 9:30 スタート

●イチゴハウス 品種:章姫(あきひめ) 胸の高さの8台×2列+1台のみ地上席×2列

(1)ランナーとり

ランナー(イチゴの株元から出ている横倒しになったつる)を指で除去。株元にある2、3枚の葉もとる。これはいずれ伸びてランナーになるため。同時に、クローバー等の雑草もとる。

除去したランナーは一部の方のお土産になる。根付けばちゃんと実がなるそう(by園主)。

♪おやつ♪優聖くんの配るエンゼルパイ&ライオネスキャンディ

(2)マルチ

水分の蒸発を防ぐため、マルチ。資材:サンシャット 道具:ホチキス7個

台の横・横・真上の位置に、白を上面にしてマルチを敷き、ロックウールを完全に覆って苗を隙間から出すようにホチキスで留める。マルチの幅は二種類、真上に敷くものが幅狭。端は台のパイプに結び付けておく。

ホチキスは、イチゴとイチゴの間に2回。隙間が見えず、株が大きくなったときに妨げにならない程度に、各株元から3cmくらい空けたところに打った。隙間からの蒸発をより避けるため、ホチキスは片方のマルチをもう片方でくるむような形で打った。

地上席の2列はマルチをすべきか判断しかねたため、行わず。

昼食:各自コンビニまたはお弁当。女子部は裂き織り、草木染めなど手芸話題で盛り上がる。

♪おやつ♪ずんだスナック、だだちゃチョコサンドクッキー(松本家)、八海山クリームサンド(オズ)

午後

●ナバナ種蒔き

朝、石田さんが、蜂蜜屋の和久さんからもらったナバナの種。谷っ戸ん田の周囲にぐるりと鍬で軽く溝をつけ、子どもたちが蒔いた後、土をかぶせた。

●トマト定植・誘引 品種:大安吉日 収穫時期:今年中

トマトの苗(101本)をポットから地面に定植。1番目の花が咲いている方向を通路に向けるのがポイント。2番目以降の花も同じ方向に咲く。穴の開いたマルチは既に用意していただいていたので、穴の下の土をほじくって植える。スズランテープと洗濯ばさみを使って誘引を行う。

●ネギ畑草取り・土寄せ

ネギ畑はまるちゃんの背(126.9cm)より高い草がぼうぼうで呆然。しかし土が軟らかいため面白いように抜けた。まるちゃんも自分より背の高い草を抜いた。

鍬と、先端がカマボコ型のおかめ鋤簾(じょれん)を使い、ネギの生長点(分かれている所)に土をかけないように、土寄せ。

●ダイコン種まき 品種:冬しぐれ

墓地下の畑、既にマルチをしてある12列(6マルチ×2列)に、1穴5粒ずつ、指第一関節程度の深さに、ばらけるように蒔いた。この畑は一部とてもぬかるんでいて「田んぼみたい(by園主)」だった。

●にんじん畑草取り

ダイコンを植えたエリアの隣は既ににんじんが植えてあった。にんじんを抜かないように気をつけながら、雑草を取った。

17:00前に、小屋建設中の園主に挨拶し、終了。脱穀は、直近の雨により稲が濡れていたため行えず、次週へ持ち越し。

<おまけ>

堀の内の畑について。そろそろ枝豆パーティか!?!と先週から期待が高まっていたが、今日の作業後、石田さん・久保さんが見に行ってきたところ、「痩せてました」との報告が。近隣の農家も同様の状況だそう。

また、ジャガイモを植えるも芽が出なかったエリアについては、高田さんから各種種の持ち込みあり。(ダイコン、にんじん等)